

ニュース・解説

(第3種郵便)

生徒との関係づくり NPOと協働で追究

神奈川県立相模向陽館高校が協定調印

今春開校した多部制定
時制の神奈川県立相模向

陽館高校(伊藤昭彦校長)は8日、特定非営利活動法人日本リアリティセラピー協会(柿谷正期理事長)との間で協定書調印式を行った。

同県が進めるNPOとの協働事業を活用して、「県立学校(パイロットスクール)におけるライフスキルアップ教育推進事業」に取り組む。同協会はアメリカのウイリアム・グラッサー博士が提唱した人間関係を改善し、より効果的に人生を送れるようにする「選択理論」を基本理論に研修機会を提供している。

アメリカでは、この

「選択理論」を取り入れた学校を特に「グラッサー・クオリティスクール」と呼び、成長の過程で人間関係のうまくいかなかった子どもたちに人間関係構築力などを育成している。

同校でも、不登校や学力不振、外国籍で日本での学習が困難など、さまざまな課題を抱える生徒を積極的に受け入れており、従来の生徒指導のノウハウを超えた新たな生徒対応のスキルが求められており、NPOと協働しながらそのノウハウなどを模索していく。

本年度は生徒との良好な関係づくりを旨とし、選択理論を学び、ロールプレイなどの研修を積んで、教職員にカウンセリングマインドを習得してもらう。さらに、保護者を対象にした年2回程度の講演会や、生徒同士でカウンセリングができるよう、生徒向けのカウンセリング研修基礎講座の実施も考えられている。

このほか同協会カウンセラーの協力を得て、従来のカウンセリングに加え、生徒や教職員への



日間の集中講座の初日)を実施し、新任の教職員が選択理論を学びながら、これまでの生徒指導の経験と融合させようと努めていた。写真。

同校では開校前から同協会の研修を自主的に受講した上で、教員研修として独自にロールプレイ研修などに取り組んできている。柿谷理事長は「選択理論によるカウンセリングができるようになるには早くも2年。できるだけのお手伝いをしたい」と語り、伊藤校長は「できることから焦らず、取り組んでいきたい」と話していた。



創刊 1946(昭和21)年5月1日

発行所

日本教育新聞社

〒105-8436

東京都港区虎ノ門1-2-8

電話03(5510)7777(大代表)

郵便振替 00150-8-196500

©日本教育新聞社 2010

☎03(5510)7828

メール kodoku@kyoiku-press.co.jp

http://www.kyoiku-press.co.jp

申し込み

ホームページ